

『非文字資料研究』執筆要項

神奈川県立非文字資料研究センター

1. 投稿資格

- (1) 非文字資料の研究に従事する者。
- (2) 本センターが定める標準書式に従うこと。
- (3) 査読対象原稿については審査員の査読を経ることを了承する者。
- (4) 論文等は未発表のものに限る。また、二重発表も禁ずる。

2. 執筆原稿

(1) 原稿の種類

- ① 非文字資料研究に関係する下記に掲げる種類の原稿とする。
 - A 研究論文： 非文字資料に関する理論的、実証的な学術論文。招待論文を含む。
 - B 研究ノート： 研究の中間報告、研究上の覚書き、研究の展望など。
 - C 報告： 調査・資料報告、実践報告、事例研究。特別企画の紹介記事等を含む。
 - D 翻訳・書評・資料紹介： 非文字資料ならびに関連分野の論文等の翻訳・書評・資料紹介。※招待論文は、センター長からの正式な要請のもとに執筆されるものとする。
- ② 投稿希望者は、エントリー用紙に、上記A～Dの原稿の種類を明記すること。また、エントリー用紙には、提出予定の論文等が、非文字資料研究であることを200字程度で簡潔に説明すること。

(2) 使用言語

日本語、中国語、韓国語、英語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語のいずれかとする。

(3) 原稿の分量

- ① 研究論文については日本語、韓国語で提出する場合は16,000～32,000字（400字詰め原稿用紙40～80枚）、中国語の場合は、10,000～20,000字、その他の言語の場合は8,000～16,000wordsを目安とする。原稿の分量の上限には図版類を含むものとする。研究ノートは研究論文の6割程度を目安とする。
- ② 上限を超える場合は、あらかじめ本センターの編集担当者に相談すること。
- ③ 図版・写真は、全体の30%以内を原則とする。図版・写真の掲載箇所等の希望がある場合はそれを付記すること（「1ページで」あるいは「半ページで」など）。
- ④ 『非文字資料研究』はモノクロで印刷する。どうしてもカラーでなければ伝えられないものがある場合については、事前に編集委員会に相談すること。

(4) タイトル

巻末掲載の英文目次のため、使用言語の如何に関わらず、タイトルには英訳をつける。

(5) 論文要旨

投稿原稿のうち「A 研究論文」については、要旨を付す。使用言語が日本語の場合は、日本語と英語の要旨を付す。使用言語が日本語以外の場合は、使用言語と、日本語あるいは英語の要旨を付す。

- ① □ 使用言語が日本語の場合は日本語で800字程度（編集委員会で英文に翻訳したものも合わせて掲載する）。
- ② □ 日本語以外の場合は、使用言語に加えて、日本語で800字程度、あるいは英語で400 words程度（編集委員会が修正する場合もある）。

3. 原稿等の提出物

- (1) 原稿は完成原稿で提出する。なお、提出された原稿およびデータ類は原則として返却しない。
- (2) 原稿は原則としてMicrosoft Office Wordで作成する。
- (3) 提出物についての留意事項
 - ① 原稿はデジタルファイル（メール添付、USB、CD-ROM等）で提出すること。

- ② インデント、タブ等の書式情報、図、表、写真の挿入希望箇所は、原稿中に赤で指示すること。

(4) 図版・表・写真

- ① □ 図版・写真は版下として使用できる質のものを提出すること。
② □ 図・表・写真ごとに、「図 1」、「表 1」、「写真 1」の形式で通し番号をつけ、それぞれのキャプション、説明、(写真の場合は撮影者。ただし論文等執筆者の場合は不要)、および出典等を記すこと。

- (5) その他の標準書式については、別紙「表記・書式細目」を参照のこと。

4. 原稿の校正

- (1) 校正は 2 回(再校)を原則として執筆者の責任において行うこととし、定められた期日以内に校正刷りを返却すること。
(2) 校正に際しては、大量の書き換え、および追加・挿入を行わないこと。

5. 著作権の扱い

- (1) 掲載資料(図版・写真・翻訳原文等を含む)が著作権にかかわる場合は、執筆者が自らの責任(費用を含む)で事前に許諾を得ること。論文等の電子化および WWW 公開に関わる掲載許可も含む。
(2) 掲載論文等の著作権については、下記のとおり処理するものとする。
① 非文字資料研究センターの刊行物に掲載された論文・報告書等(以下、論文等という)の著作権は、執筆者に帰属する。
② 執筆者は、論文等を転載する場合は、非文字資料研究センター長の許諾を得るものとし、すでに本誌に掲載されたことを明示する。
③ 執筆者は、論文等の電子化および WWW 公開に伴う「複製権」と「公衆送信権」の行使を神奈川県非文字資料研究センターに委託する。

6. 査読について

- (1) 投稿された原稿のうち、「A 研究論文」のうち招待論文および「D 翻訳・書評・資料紹介」以外の原稿は、本センター編集委員会において査読を行う。
(2) 査読の結果、原稿の修正や、原稿種類の変更を依頼したり、掲載をお断りする場合がある。
(3) 修正原稿は、編集委員会の指定した期日までに再提出をすること。

7. 抜き刷り

各投稿者に 50 部の抜き刷りを用意する。それ以上の数を希望の場合は、初校戻しの時に申し出ること(その場合の費用は個人負担となる)。

8. その他

掲載原稿の組版は、下記の通りとする。

(1) A4 判、横組み

(2) 書式・文字数

- | | | | | |
|---------------|---|---------|---------|---------------|
| A. 研究論文 | : | 本文 1 段組 | 10 ポイント | 45 字×37 行 |
| B. 研究ノート | : | 本文 2 段組 | 9 ポイント | 23 字×40 行×2 段 |
| C. 報告 | : | 本文 1 段組 | 10 ポイント | 45 字×37 行 |
| D. 翻訳・書評・資料紹介 | : | 本文 2 段組 | 9 ポイント | 23 字×40 行×2 段 |

以 上

改正：2015 年 7 月 1 日

改正：2017 年 1 月 25 日